

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

栃木市総合計画「基本方針・V」に基づき、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施し、未来を担う栃木市の子どもが「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を育むことを目指した。

まず、学力向上については、教員の授業力の向上に向けたリーフレット「とち介の学び」をもとに、訪問の要請を受けた小中学校に対して指導助言を行った。3学期には、市内全43小中学校に対して、指導主事による学力向上に係る学校訪問をオンラインで実施し、校長と学習指導主任から各校の成果と課題を確認した。また、放課後教室については、本年度も市内小学校で開催し、基礎基本の定着と学習意欲の向上を図った。更に、学力向上推進研究校として都賀ブロックの小中学校を指定し、3か年研究の2年目として、教員の指導力の向上と全ての子どもたちに対する学びやすさを目指した指導、支援の方法について研究を進めた。

GIGAスクール構想により、児童生徒一人につき一台のタブレット端末が市内全校に配置され、各校において、授業での端末の活用が大きく進んだ。また、端末の家庭への持ち帰りにより、新型コロナウイルス感染症による臨時休校等でのオンライン学習の活用も進んだ。

小中一貫教育については、「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、市内14の中学校ブロックで、小中合同研修会や推進委員会を開催し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。

人権教育については、令和2・3年度の2か年、岩舟ブロックの小中学校を人権教育実践研究校に指定して、「人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成」を目指した研究を推進し、2年間の研究のまとめとして、公開研究発表会を実施した。

道徳教育については、令和2・3年度の2か年、藤岡第一ブロックの小中学校を道徳教育推進研究校に指定して、「ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童生徒の育成」を目指した研究を推進し、2年間の研究のまとめとして、公開研究発表会を実施した。

グローバル外国語教育については、小学校では、1つの学校に複数の外国語指導助手(ALT)が一日訪問し、全児童が英語によるコミュニケーション活動を体験する「グローバルデー」を4校で実施、中学校では、市内の全生徒が自分の学校以外のALTと1対1でコミュニケーションを体験する「スピーキングテスト」を実施し、目指す子ども像「多様性を受容し、主体的に思いや考えを伝え合う子ども～ふるさと栃木から世界へ！～」の具現化に向けた研究を推進した。

いじめ対策の取組としては、いじめ問題に対する児童生徒の主体的な行動を推進することを目的とし「“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラム」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

また、就学事務システムを導入し、学齢簿編成等の就学事務の効率化を図った。

学務係

1 学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
39	57	105	45	39
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
13	2	2	28	50

(2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・各種選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務
- ・教員免許制度に関する事務
- ・教職員の履歴に関する事務

(3) 教職員の給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者の記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されている者はいないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員団体に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
令和2年5月1日	7,424	347	3,862	157
令和3年5月1日	7,281	346	3,813	160
比 較	-143	-1	-49	3

(6) 小中学校教育環境整備事業（理科教育設備整備等事業）

理科教育設備整備費等補助金により、小学校14校、中学校14校の理科及び算数・数学教育に関する設備の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	843,770
中学校	524,634
合計	1,368,404

(7) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務（単位：冊）

区分		冊数
小学校	前期用	65,619
	前期転学用	138
	後期用	13,026
	後期転学用	122
中学校	前期用	36,790
	前期転学用	27
	後期用	-
	後期転学用	53
合計		115,775

(8) 教師用教科書及び指導書等購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区分	冊数（冊）	費用（円）
教師用教科書 前後期用	2,045	1,158,520
教師用指導書等 前後期用	995	21,875,040
合計	3,040	23,033,560

(9) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う、臨海自然教室を実施する事業であるが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短縮日程等で実施する小学校もあった。

・市内1校が日帰りにて実施、14校が1泊での短縮日程にて実施した。

(10) 特色ある学校づくり奨励補助金事業

学校独自の「特色ある学校づくり」を推進することを目的として、学校が実施する特色ある教育活動に要する経費に対し、補助金を交付した。

・市内40の小中学校で実施、交付金額1,900,000円

指導係

1 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア 共同訪問

栃木第四小、国府南小、部屋小、合戦場小、東陽中、皆川中、大平中

イ 研究学校

(ア) 市指定人権教育実践研究校

・岩舟小、静和小、小野寺小、岩舟中

(イ) 市指定学力向上推進研究校

・合戦場小、家中小、赤津小、都賀中

(ウ) 市指定放課後教室研究校

・市内全小学校

(エ) 市指定道徳教育推進研究校

・藤岡小、赤麻小、三鴨小、藤岡第一中

ウ 学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	期日		備考
1	栃木中央小	国語・理科	10月21日	木	
2	栃木中央小	国語・理科	11月10日	水	
3	栃木第三小	道徳	9月15日	水	
4	栃木第三小	算数・理科	11月17日	水	ブロック小中合同研修会
5	栃木第四小	各教科	7月5日	月	共同訪問
6	栃木第四小	講話	8月3日	火	算数の学力向上を目指して
7	栃木第四小	算数(2授業)	10月13日	水	
8	栃木第五小	講話・演習	6月30日	水	タブレット端末の活用
9	栃木第五小	算数(2授業)	10月25日	月	
10	南小	国語	12月1日	水	
11	大宮南小	国語	9月22日	水	
12	大宮北小	講話	8月4日	水	NIE実践に向けて
13	大宮北小	国語	9月22日	水	
14	皆川城東小	講話	7月30日	金	ブロック小中合同研修会
15	吹上小	国語	9月15日	水	
16	吹上小	国語	11月19日	金	
17	寺尾小	国語	6月16日	水	
18	寺尾小	国語	10月27日	水	
19	国府南小	国語	6月30日	水	
20	国府南小	各教科	10月22日	金	共同訪問
21	国府南小	国語	2月3日	木	
22	国府北小	算数(2授業)	6月25日	金	
23	国府北小	算数(2授業)	11月19日	金	
24	大平東小	国語	11月24日	水	
25	大平南小	講話	5月24日	月	社会的な見方・考え方

26	大平南小	社会(2授業)	8月10日	火	
27	大平南小	社会(2授業)	10月26日	火	
28	大平西小	国語	9月29日	水	
29	大平西小	国語	12月6日	月	
30	大平中央小	社会・算数	6月28日	月	
31	大平中央小	国語・社会	11月26日	金	
32	藤岡小	道徳(2授業)	6月23日	水	道徳教育推進研究校
33	藤岡小	道徳(2授業)	11月11日	木	道徳教育推進研究公開授業
34	部屋小	各教科	5月12日	水	共同訪問
35	部屋小	講話	8月2日	月	外国語科の評価
36	部屋小	算数	9月29日	水	ブロック小中合同研修会
37	赤麻小	算数	6月30日	水	道徳教育推進研究校
38	赤麻小	算数(2授業)	9月27日	月	
39	赤麻小	道徳	9月30日	木	道徳教育推進研究校
40	赤麻小	算数(2授業)	11月5日	金	
41	赤麻小	算数	11月5日	金	
42	三鴨小	道徳	6月16日	水	道徳教育推進研究校
43	三鴨小	道徳(2授業)	11月11日	木	道徳教育推進研究公開授業
44	合戦場小	算数	6月30日	水	学力向上推進研究校
45	合戦場小	各教科	10月5日	火	共同訪問
46	合戦場小	算数	11月25日	木	学力向上推進研究校
47	家中小	算数	6月23日	水	学力向上推進研究校
48	家中小	算数	11月10日	水	学力向上推進研究校
49	赤津小	国語	6月28日	月	学力向上推進研究校
50	西方小	算数	6月23日	水	
51	西方小	算数	10月22日	金	
52	西方小	算数・外国語	11月17日	水	ブロック小中合同研修会
53	真名子小	算数	6月16日	水	
54	真名子小	算数	11月10日	水	
55	岩舟小	学活	9月22日	水	人権教育実践研究校
56	岩舟小	社会	11月12日	金	人権教育実践研究校
57	岩舟小	社会	11月26日	金	人権教育実践公開授業
58	静和小	学活	6月9日	水	人権教育実践研究校
59	静和小	学活	10月6日	水	人権教育実践研究校
60	静和小	学活	10月12日	火	人権教育実践公開授業
61	小野寺小	学活	6月16日	水	人権教育実践研究校
62	小野寺小	学活	11月2日	火	人権教育実践公開授業
63	栃木東中	社会	6月23日	水	

64	栃木東中	道徳	10月27日	水	
65	栃木東中	保健体育	1月26日	水	
66	栃木南中	道徳	11月19日	金	
67	東陽中	各教科	9月29日	水	共同訪問
68	皆川中	各教科	11月4日	木	共同訪問
69	皆川中	社会	11月17日	水	ブロック小中合同研修会
70	吹上中	国語	12月14日	火	
71	吹上中	講話	11月24日	水	人権問題 LGBT について
72	寺尾中	理科	7月15日	木	
73	寺尾中	保健体育	12月1日	水	
74	大平中	各教科	6月17日	木	共同訪問
75	大平中	学級活動	10月6日	水	
76	大平南中	理科	6月17日	木	
77	藤岡第一中	道徳	7月7日	水	道徳教育推進研究校
78	藤岡第一中	道徳	11月15日	月	道徳教育推進研究公開授業
79	藤岡第二中	数学	11月12日	金	
80	都賀中	英語	10月6日	水	学力向上推進研究校
81	都賀中	社会	1月26日	水	学力向上推進研究校
82	西方中	音楽	9月15日	水	
83	岩舟中	特活	6月22日	火	人権教育実践研究校
84	岩舟中	社会・特活	10月12日	火	人権教育実践公開授業

・学校課題 【別表】学校課題・研究主題等一覧参照

(2) 教育研究発表会

市内の保育園、認定こども園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で取り組んできた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

- ・発表方法 録画による動画の限定配信（口頭発表）
市教育研究所ホームページへの文書データの掲載（紙上発表）
- ・配信日時 1月21日（金）午前10時～
- ・口頭発表 14件（小学校4件、中学校2件、特別支援学校1件、教育研究所5件、道徳教育推進ブロック1件、人権教育推進ブロック1件）
- ・紙上発表 7件（小学校4件、中学校2件、学力向上推進ブロック1件）

(3) 人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任等を対象に人権教育研修会を開催した。

また、岩舟中学校区の小中学校を人権教育実践研究校に指定し、人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成を目指した実践的な研究を実施した。

ア 第1回栃木市人権教育研修会

・実施日 5月25日（火）

・方法 オンライン

・内容 「栃木県の人権教育の推進について」

下都賀教育事務所 指導主事 大塚 亮太 氏

「多様な性と人権」

LGBTの家族と友人をつなぐ会メンバー 中島 潤 氏

・参加者 各小中学校人権教育主任

イ 研究指定校(岩舟ブロック：岩舟中、岩舟小、静和小、小野寺小)での取組

(ア) 研究授業・授業研究会の実施

・実施日 6月9日（水）静和小

6月16日（水）小野寺小

6月22日（火）岩舟中

9月22日（水）岩舟小

10月6日（水）静和小

10月12日（火）静和小・岩舟中

11月2日（火）小野寺小

11月12日（金）岩舟小

(イ) 公開研究発表会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前に録画した授業動画を用いてリモートでの公開研究発表会を実施した。また、関係団体向けには研究報告会を開催し、2年間の研究について周知した。

<公開研究発表会>

・授業動画公開 11月19日（金）～11月30日（火）

Web会議システム上にて限定公開

・授業研究会実施日 11月26日（金） リモート

<研究報告会>

・実施日 12月14日（火）

・場 所 栃木市役所 正庁

(ウ) 研究推進委員会と研究企画部会の開催

・小中学校が連携した研究を推進するための会議の実施

研究推進委員会(校長、教頭、教務主任、研究担当者)

実施回数 2回 6月10日(木)、11月8日(月)

研究企画部会(教務主任、研究担当者)

実施回数 6回 4月6日(火)、5月11日(火)、7月12日(月)、

9月13日(月)、9月30日(木)、11月9日(火)

(4) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育コーディネーター連絡会議

- ・実施回数 1回
- ・対 象 特別支援教育コーディネーター 参加者43名
- イ 児童生徒支援研修会
 - ・実施回数 1回
 - ・対 象 特別支援教育コーディネーター 児童生徒指導担当 参加者85名
- ウ 通級指導教室担当者研修会
 - ・実施回数 1回
 - ・対 象 通級指導教室担当者 参加者12名
- エ 通級指導教室担当者事務連絡会議
 - ・実施回数 1回
 - ・対 象 通級指導教室担当者 参加者12名
- オ 学校支援員研修会
 - ・実施回数 2回
 - ・対 象 全支援員 参加者64名
- カ 特別支援学級担当者研修会
 - ・実施回数 1回
 - ・対 象 特別支援学級担当者 参加者83名
- キ 臨床心理士や学校教育支援専門員による全校巡回訪問支援等
- (5) 幼・保・小連絡協議会

栃木市内の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校の連携を図ることにより、幼児・児童の教育効果を一層高めるために、研修会等を計画した。

 - ア 代表者会議（年2回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回とも書面にて通知
 - イ 全体研修会

実施回数 1回

参加者 保育園・認定こども園・小学校・特別支援学校教職員 計68名
 - ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

保育園・認定こども園から小学校へ 12名

小学校から保育園・認定こども園へ 17名
 - エ 地域別研修会

実施回数 2回

参加者 保育園・認定こども園・小学校・特別支援学校教職員

第1回（国府公民館） 計62名

第2回（オンライン等） 計62名
- (6) 地域ぐるみ児童生徒指導

児童生徒の健全育成を図るため、学校と家庭、地域が連携し、各中学校区での情報交換や教育講演会の開催、小・中・高の異校種間による合同研修会等を実施した。

 - ア 14中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

・実施期間 5月～12月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換や合同研究会を開催

- ・実施期間 4月～3月（2月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

ウ 児童生徒支援研修会

小学校児童指導主任、中学校生徒指導主事、特別支援コーディネーターによる合同研修会を開催

- ・実施日 8月24日（火）

エ 各部会

部会名	実施回数または実施日
中学校部会	毎月1回
中・高部会	11月5日（金）

(7) 適応指導教室運営に関する事務

適応指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校復帰を含む社会的自立に向けた指導及び支援を行ったほか、保護者に対する教育相談を行った。

- ・適応指導教室通級人数 36人（学校復帰人数27人）

（単位：件）

来所相談	1,430
電話相談	1,573
学校訪問	58
家庭訪問	152
合計	3,213

(8) スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し、学校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア 実施状況

- ・対応件数 191件（うち終結した件数67件、他機関へ引き継いだ件数66件、引き続き対応している件数58件）

(9) 防災教育推進事業

児童生徒が災害発生時に、自ら危険を予測し回避するために、災害に関する知識に基づいて的確に判断し、迅速に行動する力や、自他の生命を尊重し、最善を尽くし「主体的に行動する」態度を育成するための防災教育の充実を図った。

ア 栃木市防災教育基本プログラムの活用

- ・各校の各教科等の年間指導計画上に防災教育との関連を明記、栃木市防災教育基本プログラムを活用した防災教育の系統的・計画的な実施（実施校数：43校）

イ 実践的体験活動の充実

- ・緊急地震速報等を活用した実践的な避難訓練を実施（実施校数：43校）

(10) 小中一貫教育推進

「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で

実施している。

各中学校ブロックで設定した目指す子ども像の実現のために、重点目標を設定しブロックならではの義務教育9年間の一貫性のある教育を推進した。

ア 各ブロック令和3年度重点目標

No	ブロック名	令和3年度重点目標
1	栃木東ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできる子どもの育成 ・目標に向かって主体的に行動したり協働したりできる子どもの育成
2	栃木西ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学びに向かう子どもの育成 ・自ら進んで「あいさつ」のできる子どもの育成
3	栃木南ブロック	自ら考え、共に学び、自信をもって表現できる子の育成
4	東陽ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成 ・多様な人の交流を通して自他の存在を尊重し、共に成長する子供の育成
5	皆川ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で友達と共に学び、自分の考えを広げ深めていける子どもの育成 ・授業に必要な内容を考え、計画的に学習する習慣が身に付く子どもの育成
6	吹上ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科を要とし、自分の思いや考えを伝え合い、主体的に活動する児童生徒の育成 ・互いを理解し、良さを認め合い、望ましい人間関係を構築する児童生徒の育成
7	寺尾ブロック	学びに向かう集団づくり・子どもが意欲的に取り組む授業づくり
8	大平ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに尊重し合い、自分の考えを相手に伝え、豊かな人間関係を築ける子どもの育成 ・計画的・系統的な教育課程の編成 ・大平ブロック小中一貫教委育のグランドデザインの作成と周知
9	大平南ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、学びに向かう子どもの育成 ・生命や人権を尊重する意識を高め、自他共に大切にできる子どもの育成 ・目標をもち、困難や課題を乗り越えようとする事ができる子どもの育成
10	藤岡第一ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、思いを伝え合い、ともに学び合う児童生徒を育てる。 ・自分のこととして考え、心を開き、本音で伝え合う道

		徳授業の充実を図る。 ・系統的な指導法を工夫し、投力の向上を図る。
11	藤岡第二ブロック	・自分の考えを表現できる児童生徒の育成 ・自分と異なる考えや意見を尊重し、協働できる児童生徒の育成 ・進んで運動に親しむ児童生徒の育成
12	都賀ブロック	主体的・協働的に行動する子どもの育成
13	西方ブロック	・自分の考えを進んで発表し、学び合う子どもの育成 ・基本的な生活習慣を身につけた子どもの育成
14	岩舟ブロック	・知識や技能を身に付け、それらを活用して粘り強く課題解決に取り組む児童生徒の育成 ・自立心や思いやりの心を持ち、他者とのかかわりあいの中で自己有用間を育み自己実現を図ろうとする児童生徒の育成

イ 各ブロック小中合同研修会

中学校ブロックの教員が合同で重点目標の達成に向けて研修会を実施した。

No	ブロック名	実施日
1	栃木東ブロック	① 6月 9日 (水) ② 8月 2日 (月) ③11月17日 (水) ④ 2月 9日 (水)
2	栃木西ブロック	実施なし
3	栃木南ブロック	① 8月 2日 (月)
4	東陽ブロック	① 6月23日 (水) ② 8月2日 (月)
5	皆川ブロック	① 5月19日 (水) ② 7月30日 (金) ③ 8月 2日 (月) ④10月27日 (水) ⑤11月17日 (水) ⑥ 2月 2日 (水)
6	吹上ブロック	① 8月 4日 (水)
7	寺尾ブロック	① 6月 9日 (水) ② 8月 2日 (月)
8	大平ブロック	① 8月 2日 (月)
9	大平南ブロック	① 5月11日 (火) ② 8月 5日 (木)
10	藤岡第一ブロック	① 5月21日 (金) ② 8月 5日 (木) ③11月30日 (火)
11	藤岡第二ブロック	① 5月19日 (水)
12	都賀ブロック	実施なし
13	西方ブロック	① 8月 5日 (木) ②11月17日 (水)
14	岩舟ブロック	① 8月 5日 (木)

【別表】学校課題・研究主題等一覧

学校名	学 校 課 題 ・ 研 究 主 題	教科等	備 考
-----	-------------------	-----	-----

栃木中央小	一人一人が生き生きと学び、どの子も「分かる」を実感できる授業の在り方 ～かかわりあいの中で学ぶ授業実践を通して～	国語科・理科	
栃木第三小	学び合いをいかした 思考力・表現力の育成 ～一人一台のタブレットをいかし、考える力を伸ばす指導の工夫～	特に教科を絞らないで取り組む	
栃木第四小	自らよく考え、共に学び、しっかり表現できる児童の育成 ～算数の学力向上を目指して 2年次～	算数科	
栃木第五小	「学びに向かう力」の育成 ～ICT 機器を効果的に活用する指導法の工夫～	全教科	
南小	話す・聞く力、伝え合う力の育成 ～目的や場面、状況に応じたコミュニケーション活動をとおして～	国語等	
大宮南小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ～学び合いの中で言語活動を充実させ、言語力や表現力を高めるための指導法の工夫～	国語科	
大宮北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成～国語科 言語活動の充実と活用を図った「読むこと」の授業作り～	国語科	
皆川城東小	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進 ～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	国語科	
吹上小	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成 ～国語科「読むこと」の学習を通して～	国語科	
千塚小	自分の思いや考えを伝え合い、自分の考えをより深めることができる児童の育成 ～ICT 機器を活用した学び合いの工夫を通して～	各教科及び様々な学校行事	
寺尾小	一人一人が考えをもち、学ぶ意欲を高める課題設定の工夫 ～言葉の力を育てる言語活動の充実を目指して（国語科を中	国語科	

	心として) ~		
国府南小	多様な情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ~ICT を活用した言語活動の充実を図る授業づくり~	国語科	
国府北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成 ~数学的活動を活かした伝え合う力の育成~	算数科	
大平東小	主体的に学び、いきいきと表現する児童の育成 ~国語科の授業改善を通して~	国語科	
大平南小	社会的な見方・考え方を働かせて問いを追究し、進んで社会に関わろうとする子供を育てる社会科学習	社会科	
大平西小	目標と指導と評価の一体化による学ぶ力の育成 ~意義や価値を実感できる授業を目指して~	国語科・算数科	
大平中央小	自ら考え、友達と共に学び合う児童の育成 ~読み解く力を育む授業の工夫~	国語科・社会科 算数科・理科	
藤岡小	「聞く・考える力」を育成するための指導法の工夫 ~聞きたくなる・考えたくなる・話したくなる道徳の授業をめざして~	道徳科	道徳教育推進研究校 (市指定)
部屋小	表現力を高め、考えを深めるための指導方法の工夫 ~思考スキルを活用して~	各教科等	
赤麻小	「わかる!」「できる!」を楽しみながら、考え表現する力を高める授業の創造 ~ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を通して~	算数科	道徳教育推進研究校 (市指定)
三鴨小	つながりのある学びの展開 ~道徳科の授業を要として、自他の考えを認め合える児童の育成~	道徳科	道徳教育推進研究校 (市指定)
合戦場小	学びに向かう力を高める学習指導の在り方	国語科 算数科	学力向上推進研究校

	～かかわりを通して自分の考えを深める児童の育成～		(市指定)
家中小	学びに向かう力を高める学習指導の在り方 ～「ひとりで」「友達と」「みんなで」学び、考えを深める児童の育成～	国語科 算数科	学力向上推進研究校 (市指定)
赤津小	学びに向かう力を高める学習指導の在り方 ～お互いの考えを伝え合い、深める活動を通して～	国語科 算数科	学力向上推進研究校 (市指定)
西方小	主体的に取り組み深く考える子の育成 ～深い学びを実現するための『つなげる』授業づくり～	算数科	
真名子小	よく考え、自ら学ぶ子の育成 ～目的意識をもって主体的に学習に取り組む児童を育てる～	算数科	
岩舟小	自他のよさを認め合い、ともに高め合う児童の育成(2年次) ～豊かな人権感覚をはぐくむ授業づくりと人間関係づくりを通して～	各教科	人権教育実践研究校 (市指定)
静和小	一人一人のよさを認め合い、自分で考え行動できる子どもの育成 ・人権に関わる様々な問題を主体的に解決し、人権尊重の社会を築いていこうとする実践力を育てる。	学級活動 (社会)を中心とした人権教育	人権教育実践研究校 (市指定)
小野寺小	人権感覚をはぐくみ、互いに認め合い、いきいきと生活する児童の育成	社会科学級活動	人権教育実践研究校 (市指定)
栃木東中	一人一人が生き生きと学び、どの子も「分かる」を実感できる授業の在り方 ～授業UDの視点を意識した1人1台タブレット端末の活用を通して～	社会科学 道徳科 保健体育	
栃木西中	主体的に学びに向かう生徒の育成 ～『とち介の学び』を基盤として～	全教科等	
栃木南中	自ら考え、進んで学習に取り組む生徒の育成 ～主体的な学習につながる効果的な振り返り活動の工夫～	教科指導全般(特に国語、社会、数学、理科、英語の5教科)	

		科)	
東陽中	自らを律し、自己実現を目指す生徒の育成 ～より良い人間関係を築くコミュニケーション活動を通して(学業指導の充実)～	全教科 教師が生徒指導と学習指導の双方を高められる指導の工夫	
皆川中	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進 ～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	国語科 総合的な学習の時間 (三校交流会、夢プロジェクト)	
吹上中	表現力を育成する指導方法の工夫 ～自己の考えを積極的に伝え合い、深い学びにつながる活動を通して～	国語、社会、 数学、理科、 英語、道徳	
寺尾中	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫 ～質の高い学び合いを目指した授業の改善～	全教科	
大平中	生徒一人一人の学びを大切にした授業の創造	全教科等	
大平南中	主体的に学び、互いに高め合う生徒の育成 ～生徒が主体的・対話的に学び合うための授業改善を目指して～	全教科	
藤岡第一中	「安心・自信・意欲」を高めるための「わかる授業」づくりと「自立した学習者」を育成するための指導の充実	道徳科 各教科	道徳教育推進研究校 (市指定)
藤岡第二中	「自他を尊重し意欲的に学び、自ら力を伸ばせる生徒の育成」 ～主体的活動の実践による表現力の育成を目指して～	全教科	
都賀中	基礎・基本の力を高め、主体的・協働的に課題解決できる生徒の育成 ～できた・わかった・楽しい「授業づくり」をとおして～	5教科を中心とした全教科	学力向上推進研究校 (市指定)

西方中	確かな学力を身につけ心豊かでたくましい生徒の育成 ～不登校の未然防止・早期解消・早期解決を目指して～	全教科・学級活動・生徒指導・教育相談	
岩舟中	人権感覚をはぐくみ、互いを認め合い、いきいきと生活する児童・生徒の育成	社会科、特別活動	人権教育実践研究校 (市指定)

*表記につきましては、各学校から報告された文言で示してあります。

グローバル教育推進室 グローバル教育推進係

1 グローバル教育に関する事業

(1) グローバル教育基本計画策定

グローバル化が進展する社会で活躍することのできる資質能力を明らかにし、これまでの本市における実践の成果と課題を踏まえて、基本理念を「多様な他者と協働して課題を解決できる児童生徒の育成」とするグローバル教育基本計画を令和4年1月に策定した。

(2) グローバルデー

複数の外国語指導助手(ALT)が終日学校を訪問し、外国語の背景にある文化体験やALTとの直接コミュニケーション活動等の活動を実施した。

ア 実施校

- ・大平南小学校 9月24日(金)
- ・大宮南小学校 10月5日(火)
- ・寺尾小学校 11月9日(火)
- ・静和小学校 11月16日(火)

(3) 外国語指導助手(ALT)学校派遣

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手(ALT)23名を各学校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日に訪問した。

延べ訪問日数 (単位:日)

中学校	1,194
小学校	3,383
合計	4,577

(4) スピーキングテスト

外国語指導助手(ALT)と直接英語で話す機会を提供し、英語で話す力を直接的に確認することで、達成感と今後の外国語学習への意欲を高めるため、市内全中学校でスピーキングテストを実施した。

ア 実施期間

11月29日（月）～12月21日（火）

(5) 外国人児童生徒等への日本語指導

日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対して、市内拠点校の日本語教室においての初期指導や、在籍校に指導者（日本語指導員、日本語指導サポーター）を派遣しての教科指導を実施した。

来日直後の外国人児童生徒等に対しては、在籍校に支援者（母語支援員）を派遣し、児童生徒の母語による支援を実施した。

ア 日本語指導児童生徒数

	初期指導	教科指導	計
拠点校	15	23	38
巡回	6	24	30
合計	21	47	68